

# 第12回 開発・技術マネジメント革新大会

基本テーマ「潮流を読み、R&Dの革新能力を高める」

【参加のご案内】

私たちJMACのRD&Eコンサルティングでは、研究開発、開発設計、生産技術といったモノづくりの上流段階のイノベーションを通じて、社会、産業界への貢献を目指しています。その中で、RD&Eセンターはマネジメント革新の理論の研究・調査、実態調査の実施や本講演会などの改革・改善事例の交流の場を設けながら、産業界のRD&Eマネジメント革新のプラットフォームづくりのために活動しています。おかげさまで、この「開発・技術マネジメント革新大会」も12回目になります。

今年の大会では、基本テーマを「潮流を読み、R&Dの革新能力を高める」とし、開発・技術マネジメントの各分野での先行事例をもとに、皆様とこれからの開発・技術マネジメントを研究・相互交流していきたいと考えております。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

**開催日**            **2008年6月11日(水) 9:45 ~ 18:30**

会 場            東京コンファレンスセンター・品川  
参加料           31,500円(資料・昼食・パーティ代・消費税込み)  
                    早期申込み割引料金(5月9日(金)まで)25,200円  
定 員            300名(お申込み順)

---

主 催            株式会社日本能率協会コンサルティング  
お問合せ       第12回開発・技術マネジメント革新大会事務局  
                    TEL : 03-3434-0063 FAX : 03-3434-2448  
                    E-mail : event\_consult@jmac.co.jp

9:45 ~ 9:55	開催にあたり
9:55 ~ 10:55	基調講演 : ケータイビジネスの潮流と一歩先の挑戦
11:05 ~ 12:05	特別講演1 : 今後の日中R & D連携は新時代に
12:05 ~ 12:35	特別講演2 : 自分ごとでつながる地域企業イノベーションネットワーク

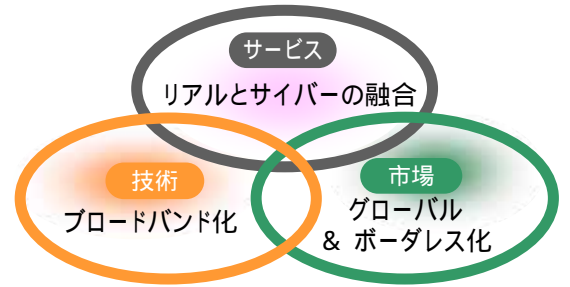
基調講演

「ケータイビジネスの潮流と一歩先の挑戦」

株式会社NTTドコモ  
取締役常務執行役員 ネットワーク本部長 二木 治成 氏

ケータイ(携帯)ビジネスは3つの段階を経て発展して来ました。  
第1段階は90年代初めから99年の間で、この間に携帯電話は急速に普及しました。第2段階は、iモードを導入した99年から05年の間で、ケータイによるインターネットアクセスが急拡大しました。第3段階は05年以降で、ケータイを通信以外に利用する“生活ケータイ”の時代です。各段階への移行には、それまでの技術の蓄積とブレイクスルーがありました。と同時に、それを引っ張っていくチャレンジ精神旺盛な人材が必要でした。ドコモは今、大きな転換期にあります。既存プレーヤーとの激しい競争の中で、これまでとは違う、Googleやアップルという新しいプレーヤーが参入してきました。そんな潮流の中、ドコモは新たなチャレンジの段階にあります。ドコモが今目指している、「一歩先のケータイビジネス」を紹介し、その実現のためには何が必要なのか考えてみたいと思います。

“新たな成長戦略”



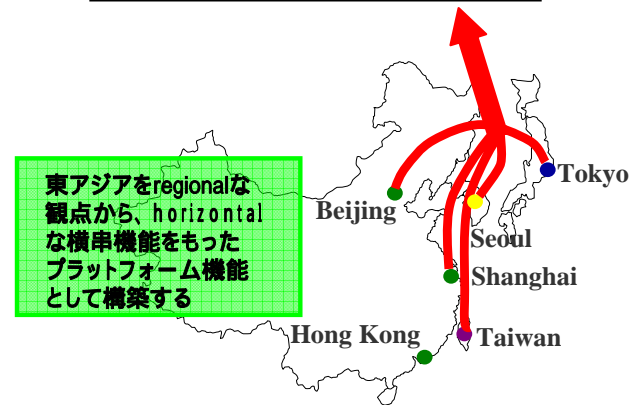
特別講演1

「今後の日中R & D連携は新時代に」

青山学院大学経営学部 客員教授  
中国清華大学継続教育学院 顧問  
株式会社イノベーションズ 代表取締役社長 中田 研一郎 氏

質的にも量的にも中国にナレッジワーカーが多数輩出している現実を踏まえ、中国は「アセンブリ工場中心」、「安価な労働力」という既成観念に囚われず、今後は日中間で多層的に人材戦略を展開する必要があります。  
R&D領域の多くの分野においてソフト開発力強化が必要という現状において、software, firmwareを中心に強みを持つマンパワーが急速に増大し、人材の一大供給源になった中国の人材マーケットには、人材構成の変革の中にある日本企業にとって、そのニーズをマッチングさせる大きなチャンスが存在します。今回は、急速に拡大、進展しつつあるグローバル化の時代に、今、東アジアで起こりつつあるパラダイムシフトが何であるかを理解した上で、R&D人材の育成と登用を日中間でどのように連携していいのかについて考えたいと思います。

東アジア人材プラットフォームの構築

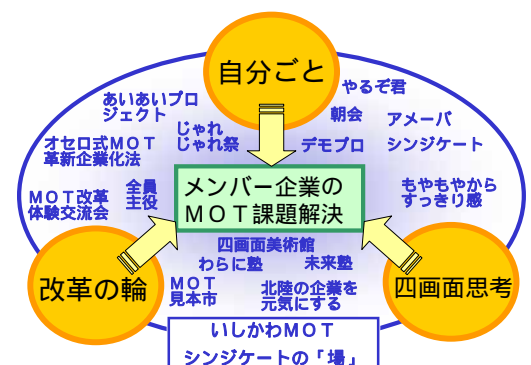


特別講演1

「自分ごとでつながる地域企業イノベーションネットワーク」

いしかわMOTシンジケート 幹事  
株式会社朝日電機製作所 電子設計部 主幹技師 砂崎 友宏 氏

日本の変革の担い手が中央から地方へ変わっていく流れの中で、地域企業ネットワークの重要性が目まぐるしく注目されています。  
石川県では北陸先端科学技術大学院大学のMOTスクールの同窓会ネットワーク(いしかわMOTシンジケート)が、メンバー企業を訪問しあい、MOTで設定した課題を互いに解決する活動を続けています。活動の三原則「自分ごと」「改革の輪」「四画面思考」から生まれる実践力で「北陸企業を元気にする」ために挑戦する姿をご紹介します。





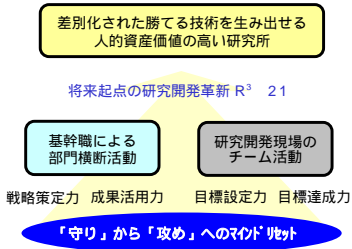
13:45 ~ 15:15	[A-1] 「守り」から「攻め」へ ~ 将来起点で研究開発を革新する ~ [B-1] 世界No.1商品を創造するTM-1活動 [C-1] 仕事と人材の同時革新 ~ 2軸革新活動
15:35 ~ 17:05	[A-2] 研究テーマを見出すイメージングプロセス [B-2] 「お客様起点」と「ムダ取り」が開発設計現場を変える [C-2] 中国における原価企画の推進
17:20 ~ 18:30	参加者交流会

## Aセッション RD戦略・企業革新

**[A-1] 「守り」から「攻め」へ**  
~ 将来起点で研究開発を革新する ~  
株式会社ジャパンエナジー  
精製技術センター所長 松田 健一 氏

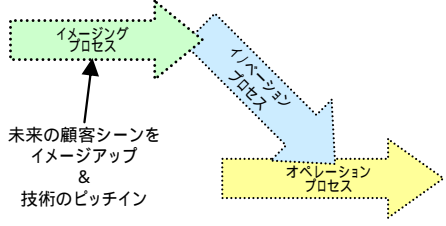
弊社精製技術センターでは、現業支援中心の研究開発から、将来の事業成長の一翼を担える研究開発への革新を目指したR<sup>3</sup>-21活動に取り組んでいます。研究開発の革新には、研究開発者のマインドを、「守り」から「攻め」へリセットする必要があります。

将来起点で研究開発のあり方を描きながら、基幹職による部門横断活動と、研究開発現場におけるチーム活動を両輪で展開することで、研究所全体としての戦略的な革新を全員参加で進めています。本セッションでは、その取り組みの一端をご紹介します。



**[A-2] 研究テーマを見出すイメージングプロセス**  
キヤノン株式会社 基盤技術開発本部基盤技術開発推進課  
担当課長 杉山 正幸 氏

中長期の研究テーマを考えるにあたり、未来の構想を膨らませることが重要です。そのためにイメージングプロセスを重視した方法論を研究してまいりました。今回は、「Shining Star」や「技術のピッチイン」等の具体的な方法を紹介します。



## Bセッション 開発・設計革新

**[B-1] 世界No.1商品を創造するTM-1活動**  
TOPCON Advanced Biomedical Imaging Laboratory  
General Manager 福岡 康文 氏

トプコンでは、世界No.1商品を他社に先駆けて上市する「TM-1(Time to Market No.1)活動」により、「利益ある持続的成長を実現し、「グローバル優良企業を目指す」ことを目標に掲げています。その成果の一つとして、世界で初めて、

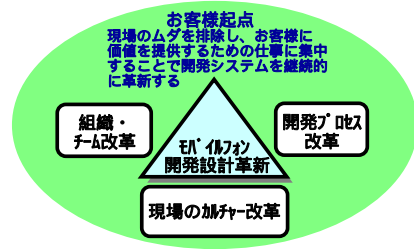
OCTと無散瞳眼底カメラを融合した「3次元眼底像撮影装置 3DOCT 1000」の開発に成功しました。本セッションでは、TM-1活動の全体像と3DOCT 1000開発事例についてご紹介致します。



**[B-2] 「お客様起点」と「ムダ取り」が開発設計現場を変える**  
富士通株式会社 モバイルフォン事業本部  
ビジネス推進統括部長代理兼業務改革推進部長 岩淵 敦 氏

携帯電話端末ビジネスは、国内市場が成熟化の中で、激しい競争環境にあります。弊社では、厳しい事業環境を勝ち抜き、成長を実現するために、経営トップ、ミドルマネジャー、現場のエンジニアが一体となった開発設計革新活動を推進してきました。

「お客様起点」と「徹底したムダ取り」をコンセプトに、開発設計現場のプロセス、チーム、カルチャーを同時に変えることで、事業成果の創出と継続的な現場改革をリードする人材の育成に取り組んでいます。活動事例をとおして、その取り組みの一端をご紹介します。

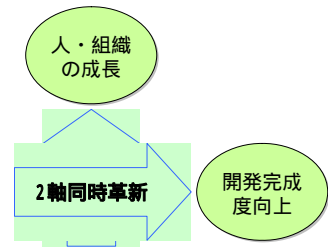


## Cセッション 人・組織高度化

**[C-1] 仕事と人材の同時革新 ~ 2軸革新活動**  
株式会社デンソー IC技術2部  
主任部員 荒砂 俊和 氏 矢野 美香 氏

デンソーIC技術2部では、ビジネスと組織の拡大に合わせる形で、人材育成を部の取り組みの柱に置き、マネジメント教育や技術教育などに取り組んできました。

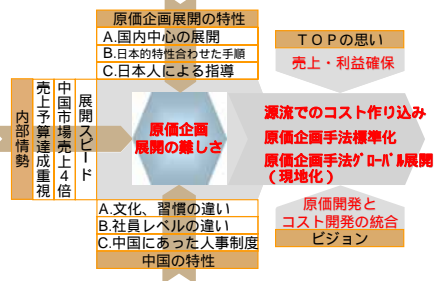
本事例紹介では、その人材育成の考え方や全体の体系、そしてその中でも開発の完成度向上と人・組織の成長を目指した2軸革新活動という4年にわたる取り組みについて、事例を交えてご紹介致します。



**[C-2] 中国における原価企画の推進**  
オムロン株式会社 事業プロセス革新本部  
原価企画・開発購買革新センタ 主査 東原 由晃 氏

弊社は、1986年より開発の源流段階から検討する原価企画活動を推進してきました。昨今の中国へのロケーション移転に伴い、これまで日本国内で行って

きた原価企画活動を、文化、習慣、風土、考え方の違う中国で実施するためには試行錯誤の連続でした。本日は、これまで中国で取り組んで来た活動についてご紹介いたします。



# JMACセミナー参加申込書

## 第12回 開発・技術マネジメント革新大会

参加希望の方は、インターネットもしくは下記申込書にご記入の上、FAXにてお送りください。  
お申込み順にて受付、後日参加証・請求書をお送りします。

参加証・請求書のご送付方法はどちらを希望されますか。

E-Mail希望  
PDF形式のファイルとなります。

郵送希望

**お願い** 定員になり次第締切とさせていただきます。  
参加料振込み後のキャンセルはできませんので予めご了承ください。(代理の方の出席をお願いします)  
同業者はお断わりする場合がございます。  
諸事情により開催を中止させていただく場合がございますので予めご了承ください。  
ご案内のご送付先変更・中止などのご希望の方は、お手数ですが封筒の宛名ラベルにその旨をご明記の上、FAXにて本大会事務局までご送付くださいますようお願い申し上げます。

### 第12回 開発・技術マネジメント革新大会 申込書

### FAX番号 03-3434-2448

貴社名・事業所名(フリガナ)

業種 1.食料品 2.繊維製品 3.パルプ・紙 4.化学 5.医療品  
6.石油・石炭製品 7.ゴム・窯業 8.鉄鋼・非鉄金属・金属製品  
9.機械 10.電気機器 11.輸送用機器 12.精密機器  
13.その他製造業 14.電気・ガス業 15.運輸・通信業  
16.卸売業 17.小売業 18.金融・保険業 19.建設・不動産業  
20.サービス業 21.公共 22.その他

ご住所(フリガナ) 〒

部署・役職

氏名(フリガナ)

連絡先		PM1、PM2はそれぞれ選択してください			
TEL	FAX	ご希望のセッション	PM1:	A-1	B-1 C-1
E-mail			PM2:	A-2	B-2 C-2

部署・役職

氏名(フリガナ)

連絡先		PM1、PM2はそれぞれ選択してください			
TEL	FAX	ご希望のセッション	PM1:	A-1	B-1 C-1
E-mail			PM2:	A-2	B-2 C-2

部署・役職

氏名(フリガナ)

連絡先		PM1、PM2はそれぞれ選択してください			
TEL	FAX	ご希望のセッション	PM1:	A-1	B-1 C-1
E-mail			PM2:	A-2	B-2 C-2

部署・役職

氏名(フリガナ)

連絡先		PM1、PM2はそれぞれ選択してください			
TEL	FAX	ご希望のセッション	PM1:	A-1	B-1 C-1
E-mail			PM2:	A-2	B-2 C-2

印の方宛てに参加証・請求書をまとめてご送付します。(不都合な場合は、備考欄にご記入ください。)

備考:

本個人情報、弊社事業活動におけるセミナー、イベント、アンケートのお願いなどに活用させていただくことがあります。  
弊社は、収集した個人情報を適切に取り扱い、第三者への提供は行いません。  
本情報の訂正、削除などをご希望される場合には、お問合せ先「第12回開発・技術マネジメント革新大会事務局」までご連絡ください。

インターネットでのお申し込みは・・・ <http://www.jmac.co.jp/rde/>